

平成 30 年度 うさみの園居宅介護支援事業所 事業報告書

1. 事業運営の概況

平成 30 年度 4 名の介護支援専門員を配置し、特定事業所加算Ⅱを算定。質の高いケアマネジメントが行えるよう体制整備を実施し、積極的に受け入れをして担当件数も増加している。

今年度も介護予防プランの委託や困難事例の依頼にも積極的に対応し、各地域包括支援センターや行政機関、医療機関との連携強化に努めた。

2. 事業計画実施状況

(1) ケアマネジメントの質の向上

- ・ 介護支援専門員の必須研修を始め、外部の研修にも積極的に参加する機会を作り各職員自己研鑽に励んだ。
- ・ 困難事例等のケースについては、週一回の居宅会議内にて事例検討会を実施した。問題の明確化や対応方法などの検討を随時行い、職員間で情報の共有を図った。また、必要に応じて地域ケア会議に参加、援助技術の向上にも努めた。
- ・ 今年度は地域の他事業所と合同で研修会を企画し、地域全体の介護支援専門員の資質向上に努めた。

(2) 地域包括等各関連機関との連携

- ・ 今年度は介護報酬の改定があり、制度理解に努め行政機関、地域包括支援センター、各事業所とのさらなる連携強化に努めた。
- ・ 社会福祉法人の職員として信頼されるよう業務に取り組み、今年度もいきいき支援相談会を本体と一体となり実施。法人理念である地域に拓かれた、地域に愛される、地域に信頼される施設を目指し取り組みを行った。
- ・ 医療機関と連携し入、退院時必要な情報を提供、適切な在宅生活を送れるよう対応した。

(3) 事業所の収入安定

- ・ 利用者様の意向を第一に尊重しつつ、うさみの園系列事業所のショートステイ、

デイサービス、ヘルパーステーション等が提供するサービス利用者様の増加にも努めた。

- ・ ケアマネ担当件数の増加を目指し、困難事例なども積極的に受け入れた。
- ・ 特定事業所加算Ⅱを算定。特定事業所としての体制整備、ケアマネジメントの質の向上に努めた。

(4) コンプライス意識の向上

- ・ 運営基準に基づき適切なケアマネジメント、請求業務を実施した。